

第8回 第5次羽咋市総合計画 審議会 会議録

日時 平成22年10月4日(月) 19時～21時

場所 羽咋市役所 4階 401会議室

出席者 各審議会委員(欠席者 浅野委員、大橋委員、河島委員、坂室委員、細川委員)

アドバイザー 金沢大学 神谷教授

市側出席者

[事務局]

企画財政課長

岸 博一

企画財政課総括主幹

川口 哲治

企画財政課主幹

松田 秀治

企画財政課主任

中村 仁志

[審議事項関係課]

教育次長

酒井 克信

文化財室長

松栄 建一

生涯学習課総括主幹

中谷 充久

会議傍聴者 なし

1. 開会

2. 会長あいさつ

(略)

3. 第7回会議録の確認について

4. 会議傍聴者について

5. 審議事項

(1) 「歴史文化」「市民文化」について

文化財室長、生涯学習課総括主幹より説明の後、審議

【委員】

・コスモアイル羽咋の指定管理者制度の適用は第4次総合計画にはないものだが、実際に実施されている。その効果はどうか。

【生涯学習課総括主幹】

・平成19年度から導入している。正規職員がいなくなったので、財政的に抑えられていると聞いている。5年間なので残り2年間継続する。2階の展示コーナーの入館者数が微増している。

【委員】

・コスモアイル羽咋で実施される文化・交流事業が、指定管理者制度を導入することによって、落ち込んだのか、それとも活発になったのか、そのようなことを聞きたい。

【委員】

・関連する質問で、コスモアイル羽咋の指定管理者の導入はどのような目的からか。その意図は何か。

【生涯学習課総括主幹】

・財政的な観点から経費の節減のため。また、国の制度として公共の施設の運営に民間の活力を有効に生かすようにされているためと聞いている。

【委員】

・聞いているということだが、どこが管理しているのか。

【生涯学習課総括主幹】

・コスモアイル羽咋の所管は生涯学習課だが、指定管理者制度を適用し指定したのは羽咋市教育委員会。

【企画財政課長】

・コスモアイル羽咋の施設は大きく分けて、1階には図書館、大ホール、2階には宇宙科学展示室、3階にはコスモシアターがある。この中で宇宙科学展示室は観光施設なので、誘客の観点から行政は民間に比べ能力が弱い。指定管理者制度は企業のノウハウを利用して有効に活用するというもの。

・現在（有）Project Do に運営してもらっている。民間の経営ノウハウを活かしてもらい、2階の宇宙科学展示室の利用者数は伸びてきている。

・委員からの質問があったのは、大ホールの利用状況になると思うが、文化関連の事業で利用者の推移について知りたいとの趣旨だと思われる。例えば、自衛隊の演奏会、ピアノの演奏会、学校の催しなどの事業など市主催の事業がそれにあたる。これらの利用者数の推移は概ね横ばいの状況にある。

・図書館は経費としては安くなっているが、利用者数はそれほど変化がないものと思われる。しかし、開館時間が延長され午後7時まで開いているなどサービスは向上している。

【委員】

・第4次総合計画進行管理書のP57の指標の「芸術公演鑑賞者数」には、学校の児童生徒数は含まれているのか。

【生涯学習課総括主幹】

・小学校5年、6年の対象者を含んでいる。

【委員】

・関連する質問として指標の「文化祭の出演・出品者数」だが、平成18年度で極端に減っているがなぜか。平成14年度と16年度が同数なのはなぜか。

【生涯学習課総括主幹】

・吉田兄弟や三遊亭楽太郎など、ステージの都合で大ホールでできなかった事業がカウントされてないため。

【委員】

・第4次総合計画進行管理書のP55の指標の「歴史文化講座の参加者数」だが、平成20年度実績値で1603人とあるのに、平成22年度目標値が700人と低く設定されているが、なぜか。同じく「歴史民俗資料館利用者数」でも同様に目標値が実績値より低く設定されているが、なぜか。

【文化財室長】

・目標値は5年ごとに見直しをしており、平成22年度の目標値は5年前の実績に基づいているものと思われる。平成20年度は市制50周年記念事業があった年。村本義雄氏所有の門外不出の朱鷺に関連する特別展示もあったこともあり、市内にとどまらず県外からの利用者数も増加した。

【委員】

・利用者が伸びたのであれば、目標値をさらに高く設定するものではないか。民間ではさらに伸ばす方法を考えると思うが。

【委員】

・関連しての質問だが、目標値があって実績があるという説明にはならないのか。そうでないとこの実績が順調に推移しているのか判断できない。

【文化財室長】

・平成 22 年の目標値は、5 年間前の実績で設定されており、それ以降見直しが行われていない。そのため、目標値が実績を下回っていることになっている。

・「歴史文化講座の参加者数」の平成 22 年の目標値は、平成 18 年度に現地学習バスが運行減となったため、それを見込んだ目標設定にはなっている。

【委員】

・各委員からの質問は、予想を立てて目標値を設定し、それに対して実績があるというのが筋ではないかというもの。目標値が実績を下回っているような状況だと、この実績値がどういう意味を持つのか判断しづらい。もっと簡単に読み取れるように見直しができないものか。

【企画財政課長】

・各委員から指標について質問があったことについてお答えする。第 4 次総合計画を策定した当初、施策の方向性がキャッチフレーズとしてあったものの、これまでと同様に数値などがなかった。それでは効果が測れないということで、平成 14 年度頃に指標を検討して設定した。

・5 年で総合計画の見直しがあり、平成 18 年度に 5 年後の平成 22 年度の目標値を設定した。

その設定は、前半の 5 年間の実績に基づいている。あまり目標値の設定がよく吟味されなかった経緯がある。

・答申するにあたり、指標についても議論してもらいたい。

【アドバイザー】

・コスモアイル羽咋が指定管理者になっていることから、歴史民俗資料館の指定管理者制度導入というのではないものなのか。

・歴史民俗資料館だが、今後 10 年を考えると高齢者が増えるとともに、愛好者がさらに増えニーズが高くなるものと思われるが、中身を充実したり方向性を変えるなど検討することもありうるのではないか。

・子どもたちの育成という視点からは、羽咋に 10 年後戻ってきてほしいことを考えると、子どもの頃からの郷土教育の充実などに力入れるというのも一つではないか。

【文化財室長】

・歴史民俗資料館の指定管理者制度の可能性について、現在資料館としての役割と、文化財室として文化財行政の役割がある。民間のノウハウを入れてやっていくことについては疑問がある。文化財室をどこかに移管することで実現は可能だが、難しい面がある。

・歴史民俗資料館の利用者だが、高齢者の利用者ももちろんだが、むしろ相当数で小学生らの歴史郷土学習として団体で利用してもらっている。国指定史跡となっている吉崎・次場弥生公園も、小学生らに利用してもらっている。

・国立能登青少年交流の家や学校などへの出前講座といった形でも小学生らの利用があり、それらを踏まえると高齢者よりは小学生らの利用者数の方が相当多い。

【アドバイザー】

・文化政策は今後どの自治体でも重要になってくるものと思われる。企業誘致がなかなか難しいなど産業面では厳しくなる。10年後、20年後に羽咋の地域に誇りを持って帰ってきてくれるような歴史文化的政策について議論してもらえるとよいのではないか。

【委員】

・国宝を目指すということを総合計画に入れる必要があるのではないか。例えば妙成寺。他には豊財院の馬頭観音。三大馬頭観音の一つになる可能性を秘めている。

・10年後は散失してしまうものがある。總持寺祖院の山門を建てた人が羽咋で亡くなっている。その子にあたる方が羽咋にいらっしゃる。毛筆で書いた山門の設計図が数多く残っている。他には本念寺の山門。大町の長善寺もそう。田鶴浜町の出身で金丸出町で亡くなっている。三大名工の一人に数えられていた。遺物が鹿島路町などにある。今から準備したほうが、経費がかからないのではないか。

・まだ他にもそのようなものがあるのであれば探すのが文化財の仕事ではないか。

【委員】

・「歴史文化講座の参加者数」が減少した理由として、平成18年度に現地学習バスが運行減となったためと説明があったが、今後現地学習バスを復活させて効率よく運行する方法を考えたらどうかと思う。質を落とさず、継続を考えるというものの一つの方法ではないか。

【委員】

・文化遺産は維持管理に経費が掛かる。今後 10 年でどういふことが必要なのか、優先順位をつけながら、お互いに知恵を出しながら進捗を図っていくことが大事ではないか。

【委員】

・文化祭だが、ここ 5 年くらい青年団で出店しているが、人が非常に少ない。菊はたくさんあるが、人がまばらだ。人を増やす方法をなんらか考えられないか。

【生涯学習課総括主幹】

・文化祭の参加者数も出店数も減っている。ここ近年、会場が分散していることがその理由の一つでないかと話し合っているところ。三会場をメインに開催しているが、集約できないか文化協会と協議している。今後の課題だと認識している。

【会長】

・折口信夫の関係資料が東京へ、村本義雄氏が所有していた朱鷺関連の資料が県へ移管されている。羽咋にあってこそ、財産となり資産となり生きたものとなると思う。長い目で見て何が羽咋の宝になるのか、身近なところから掘り起こすという観点から提言を頂けたらと思う。

【副会長】

・小さい頃から文化祭などでいろんな文化活動を見てきた記憶がある。ここ数年の文化祭は非常に寂しい状況。

・花にしても出品している方々は努力している。バックアップする支援体制が大事ではないか。サークル活動をしていて発表する場がないとのことで、社会福祉協議会に相談に来られる方々がいる。行政の主管課は、市民の声をできるだけ聞いてどうしていこうかという熱意が大切だと思う。そうすれば市民も元気になる。行政が持つてる情報を提供して、一緒になって文化祭を盛り上げていこうとする熱意とパワーを持って今後の 10 年取り組んでほしい。

【委員】

・市内に文化財や遺跡があるが、小学生らが郷土教育として現地に足を運ぶような機会を持つことはできないか。高学年になったらマイクロバスで連れて行って、それらに触れられるというようにすることで、文化財への意識づけにな

るものと思われる。そのような計画はあるか。

【文化財室長】

・授業でということになると、学校との連携が必要になる。ゆとり教育に取り組んでいるためスケジュール的には厳しいものと思われる。歴史民俗資料館には徒歩なりバスなりで来てもらっているが、さらに2回、3回となると難しいだろう。

・校長会や教頭会で歴史民俗資料館や吉崎・次場弥生遺跡への施設見学を勧めているところだが、今後は妙成寺や気多大社などの文化遺産への見学も勧めていきたいと考えている。

【会長】

・年間通してたくさんのイベントがある。新たに設けるのではなく、既存のイベントを通して市民の足が向くようになれば、三世代の交流にもなり歴史の勉強にもなる。磐衝別命（いわつくわけのみこと）の遺徳をしのんでその命日に開催される一大イベントである唐戸山神事相撲だが、参加者が少ない。三世代で手を携えて出席することから賑わいが生まれるのではないか。

・行政に頼るだけでなく、まずは市民が地域に根差した行事に積極的に参加する。市民文化が発展し、歴史文化の新たな発見になる。また何を残していくべきかもわかってくるのではないか。

(2) 「学校教育」「幼稚園教育」について

教育次長より説明の後、審議

【委員】

・子育て施設には、幼稚園と保育所と認定こども園の三つがある。県の報告によると平成25年度から三つが一つのこども園になると聞いている。

・教育の分野である幼稚園でもそのように進めていく予定か。幼稚園も2歳児や1歳児を受け入れていく方向になり、保育の面と同様10年で随分変わっていくと思われるが、どのように変わっていくか。

【教育次長】

・学校教育課が担当しているのは幼稚園だけで、他は健康福祉課が所管になる。三つの施設が一つになるというのは聞いている。羽咋市としてどのような方向に向かうかは今後協議する必要があるものと考えている。

【委員】

- ・昨日、新聞報道にあった就学援助制度について訊ねる。生活が困窮する要保護者に対する助成だが、この15年で2倍に膨れ上がったとあった。
- ・石川県は、全国に比べ0.3%低いと報道があった。羽咋市における要保護者、準保護者の数を把握しているのであれば教えてほしい。

【教育次長】

- ・助成の対象となる人数はそれほど多くはない。後日報告したい。

【委員】

- ・民生委員として、個人情報保護条例ができるまでは、就学前の児童の家庭についての調査依頼があり、協力していた。そのため、この問題には関心がある。
- ・リーマンショック以降、生活に困窮する家庭は増えているものと思われたため、質問した。

【アドバイザー】

- ・学校教育ということだが、保育所は児童福祉の分野、ソフト面では教育委員会の管轄になるので、ここでの議論は限られたものになるかもしれない。
- ・羽咋市が教育をサポートするということで、例えば英語教育だったり、校内LANをどうするかなど主にハード面について議論をしたらよいのではないか。

【委員】

- ・幼児をトータルで把握している課がない。今まで行ってきた縦割り行政を今後10年で打破しなければならない。すでに行政に力がなくなっていて、実態に合わなくなっている。行政が変わらなければならないが、そのためには市民や地域社会と協働していくことを検討する必要がある。産業、観光でもすべての分野で言えること。
- ・委員より幼稚園、保育所、幼稚園に関する質問が出された時に、教育次長より行政が縦割りになっていて仕方がないという回答だった。子どもたちのそれぞれの人数を把握して後日報告してもらいたい。
- ・行政は縦割りでいいかもしれないが、地域社会はそうはいかない。垣根を取り払い、今後10年で子どもたちをどう育てていくか考えていく必要がある。羽咋市だけの問題ではないが、市が先鞭をつけてもいいのではないか。

【企画財政課長】

- ・現在、就学援助をしている児童は、小学生が約 70 名、中学生が 46 名いる。
- ・提言について、委員から“教育”をどうするかという観点から意見を頂きたい。少子化というテーマでは、“保育”が議論の対象になるかと思われる。ただ今回のテーマは“教育”なので、幼稚園、小学校、中学校がその分野。ソフト、ハードの面で子どもの教育をどうしていくかについて議論いただきたい。

【委員】

- ・パソコンを小学生から教えているとのことだが、まずは原点となる生きるための基本を教えることが大事ではないか。原点がわからない親が育って来て、子どもが見習ったら怖い気がする。
- ・今パソコンを使用している大人も、耳から情報を得たり、お互いにコミュニケーションをとり、自然に触れて、郷土見学をして知識を得てきたはず。
- ・今の子どもは自分の世界に入っていく意識が強い。全国に先駆けて、その半分でも時間を割き、地域社会で支え、子どもに必要な基礎的なものを教えることが大切だろう。

【教育次長】

- ・確かにネット社会に入り込んで、犯罪に巻き込まれるケースも多く発生していて危険性もある。ただ近年情報を活用する能力が必要だということで、小学校でワード、エクセル、ネット接続など基礎的なことについて教えている。その際にネットに入り込まないように、モラルを持って利用するように学校で管理して指導している。
- ・一方で自然の中で子どもを育てるということもしている。地域の農家の方に協力依頼をし、田んぼで米の植え付けから収穫まで、また畑で芋掘りなどを体験させたりしている。蛙やどじょうなど自然あつての人間だといった教育をしている。
- ・近代的教育も行いながら基礎的な教育も行っている。
- ・数年前に羽咋教育ビジョンを策定し、改訂しながら運用している。“学びあい、鍛えあい、助けあい”の三愛を掲げ、基本目標を持っている。これらに基づき、教師が各学校でプランを立て進めている。例えば、読書一人 50 冊といったように目標を定めたりして、年度末になったら報告しあい、到達状況を確認している。そのようにして子どもの教育を進めている。

【委員】

- ・総合計画進行管理書 P59 に「職場体験事業に参加した生徒の割合」が 100%

とあるが、その内容はどうか。宝達志水町でゴルフをしていた時に、そこで生徒が職場体験として草むしりをしていた。芝と草の違いがわかるかと聞いたところ、わからないとの返事だった。

- ・職場体験を測る指標で100%とあるが、ただ職場に放り込んで体験をさせているだけになっているということはないか。

- ・中学校が統合される予定だが、直接教育の課題ではないが通学路の問題があるかと思う。現在、羽咋高校から駅に向かう通学路が、この時期7時も過ぎると真っ暗になる。中学校が統合されてスクールバスを運行しても、部活の時間帯もあり、うまく合わないケースも想定される。変質者もいたりする昨今、通学路に対する対策もしっかりしてほしい。

【教育次長】

- ・委員から具体的に羽咋高校から駅に向かうまでの通学路が暗いとのこと指摘があった。地区懇談会で中学校統合の議題でも同様の意見を頂いた。

- ・どの辺りが暗いのか、歩道が未整備な場所はどこか、実際に夜歩いて、街灯がどの程度の間隔であるのか、実態調査をしている。学校の建設が終わった段階で、事業費を盛り込み、取り掛かりたいと考えている。

- ・電柱が既にあるところとないところでは整備に掛かる経費に違いがある。

- ・羽咋地区、邑知地区それぞれの通学事情をすべて網羅して配慮する必要がある。危険箇所や電灯の本数など把握に努めている。

【委員】

- ・広報に中学生の多くの企業での職場体験の記事が掲載されていた。近年、小学校で社会科と理科が一緒になって生活科になったと聞く。以前、2年生の社会科で「働く人」というテーマで市役所や消防、郵便局などで働く人について学ぶ野外授業が以前あったが、現在はまだあるのか。職場を見学することで企業意識が芽生えるといった低学年であった授業だが、羽咋市では教科書がないから削除したということはあるのか。

【教育次長】

- ・消防署に行ってはしご車に乗ったり、救急車を眺めたりといったことを、学校から近くて授業時間内にできるため実施していると聞いている。病院も行くこともあるとは聞いているが、学校や人数は把握していない。

- ・身近な職場で働くことについて意識を持ってもらうということで、小学校低学年から知識を深める学習をしていると聞いている。

【会長】

- ・小学校 6 年生だとまちへ出て、今年は「市役所の中のバリアフリー」という観点で見て回り、B4 の用紙に書いて発表している。例えば、市役所のエレベーターについて身体の不自由な方のためにアナウンスがあったらいいといった意見があった。
- ・小学校 2 年生で市内でどういう虫が飛んでいるかとかまちを見て回ったりしているという。
- ・中学生の職場体験では、はば広い体験をしていると聞いている。

【委員】

- ・教育次長から学校建設が終わった後に安全対策に取り掛かると聞いた。しかしそれは逆だと思う。立てる前に危険箇所など安全対策をクリアする必要があるのではないか。
- ・中学校の耐震診断をしたところ、危険だとわかった。数年先にというより、すぐに立て替えるべきではないかと思う。

【委員】

- ・冒頭に会長から文化教育が一番大事だとの発言があったが、にも関わらず資料が何もないというのは意識的なことか。
- ・中学校統合の問題だが、教育、安全・安心、移転の後のまちづくりとの整合性（跡地利用も含めて）、財源の見通しの 4 つの観点から考えられているかどうか。

【教育次長】

- ・担当課としての説明と、市長の地区懇談会、議会の説明とがあるとご理解頂きたい。教育、安全・安心についてだが、耐震診断の数字が悪かったというのは事実。補強までもなく建て替えが必要な値だった。校舎の安全と生徒数の減少と財政の問題の諸事情により統合中学校の建設についての議決がえられたものと思っている。
- ・跡地利用の問題だが、どのように活用していくか、市全体で検討に入る準備をしているところ。

【委員】

- ・中学校の移転ありきで話を進めるのか。

【教育次長】

・統合中学校については議会の議決を経ているので、ここではその議論にはならないものと考えている。

【委員】

・平成 11 年に策定された都市計画マスタープランを見たが、これはよく出来ている。ゾーニングもしっかりと書かれている。この方向でどの程度達成されたかどうかは不透明だが、これから将来像を描くとしても、これ以上のものは出来ないと思う。達成できなかったことについてなぜできなかったのか検証することが、これからの 10 年を考える上で重要。

・統合中学校を建設するというのは、都市計画マスタープランに逆行するものだと思う。中学校の移転は、市街地の空洞化を招くのではないか。

・当初の構想からはずれているのであれば、都市計画マスタープランをつくり直す必要がある。しかし、このプランはよく出来ているので、なぜできないかを検証し、今の時代に何の施策が必要か考える、それが今後 10 年で求められているものだと思う。

【委員】

・学校教育についてだが、生きる力の教育が必要だと委員から提言があった。ワードやエクセルなどのスキルについては小学校からではなく、高校、大学からでも十分間に合うものだと思う。小学生では他に学ばなければいけないことがあるのではないか。早く大人をつくる教育は必要ないと思う。

・成人式を 5 年間手伝っている。実行委員の集まりだと羽咋地区と比べ、邑知地区の出身の子が圧倒的に多い。邑知地区の生徒数は 100 人程度。そうすると全員が友達になり、同窓会も毎年している。羽咋地区だと他のクラスを知らなかったりする。コミュニティの問題だと思うが、非常に顕著だ。大きい学校がいいかといえば、友達関係が薄れるだけではないか。

・中学校の統合に反対しているわけではなく、統合しても友達とか仲間意識を培うプログラムを組んでほしい。市民の人口が減ることがただ悪いわけではないし、教育の良い点として検討していつてもらえたらと思う。

【委員】

・文化、教育については難しい問題だと思っている。小、中学校は江戸時代にはなかった。工場労働者を 8 時半に集めるために造ったと聞いた。散切り頭をつくるために始めたのであって、教育や文化とは簡単な問題ではないと思っている。

【会長】

- ・羽咋小学校が近いので、公開授業に行っている。低学年になればなるほど、見に来る保護者が多い。私見だが、羽咋に子どもがいない家庭も多いのかなと思う。羽咋で子どもを育てる親が少なくなっているのかなという印象を受ける。金沢に移ってしまう傾向にあるのかなと思う。
- ・全国の小、中学校の学力テストで雑誌プレジデントに結果が掲載されていた。羽咋は小学校の国語で全国第9位、算数で7位。評価基準の中では大変優れている。今の教育方法を試行錯誤しながら伸ばしていただきたい。
- ・道徳面においては、保護者にお話しをされている委員もここにいらっしゃる。そういったことをしている自治体は他にないのではないかなと思う。
- ・公開授業があるので、できれば積極的に参加し現状はどのようなものか五感で把握してもらい、今後の提言に活かしていただければと思う。

(3) 「地域コミュニティ」「コミュニティ施設」「生涯学習」「スポーツ・レクリエーション」について

【事務局】

- ・時間の都合上、次回に審議を持ち越しさせていただききたい。

6. 次回会議について

【事務局】

- ・第9回 10月20日（水） 19時から

7. その他

なし

8. 閉会